

指導案(テーマ:牛乳と社会) 食品の価格を考える

対象学年 小学校5学年

1. タイトル：食品の価格から〇〇を考える
2. 目標：グラフの読み取りを通して、牛乳が安定供給されていることを知り、牛乳を生産するための工夫や努力に関心をもつ
3. 生活や学習の事前の状況：
社会科の学習「食料生産を支える人々」、グラフの読み取り
4. 指導内容

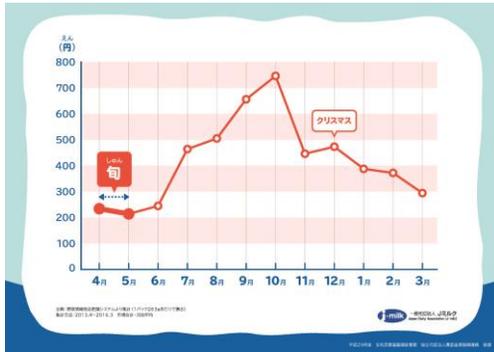
	支援及び留意点	資料
導入	<p>①②…教師の問いかけ、○留意点、・想定される児童の発言、→教師の発言</p> <p>①給食材料の中の食品の値段のグラフです。何の食品だと思いますか。 ○選択肢を与えることで考えやすくする。 A いちご（ヒント 12月高。X'mas） B ほうれん草（ヒント 旬で安。） C 牛乳（ヒント 一定）</p>	★グラフA～C
展開	<p>②牛乳の価格が一定なのはどうか、理由を考えましょう。</p> <p>（特徴 例） 牛乳は毎日出る訳ではない。 母さん牛からだけ。（子牛を生まないと牛乳は出ない） 牛は暑さに弱く、夏バテしやすい</p> <p>（おいしい牛乳を作るための環境づくり） 衛生管理、温度管理など仕事内容 生産に携わる人々（酪農家・工場）の努力 等</p>	<p>★牛や酪農家の夏と冬を表すイラスト</p> <p>●酪農家の1日の仕事</p>
つなげる	<p>③牛乳をはじめ、さまざまな食品は工夫や努力があるから給食の献立になるんだね。 ○商品をつくるために、いろいろな人が、いろいろな工夫や努力をして、消費者に届けられていることに気づく。</p>	

5. 評価の観点

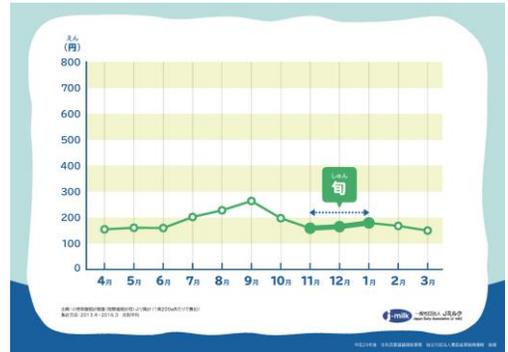
グラフの読み取りを通して、牛乳が安定供給されていることを知り、牛乳を生産するための工夫や努力に関心をもつようになったか

指導のための補助教材

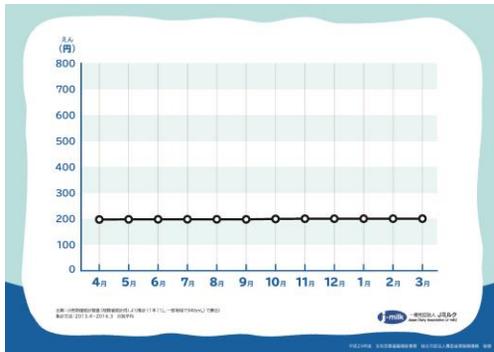
1.★価格グラフ(A:いちご)



1.★価格グラフ(B:ほうれん草)



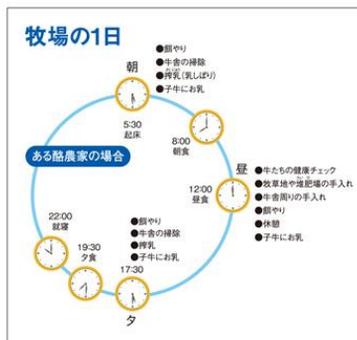
1.★価格グラフ(C:牛乳)



2.★牛(酪農家)の夏と冬



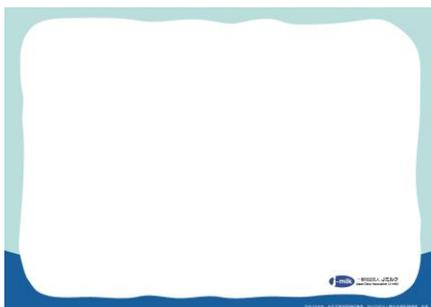
3.●酪農家の一日の仕事(例)



左のイラストは

- ⇒ Jミルクホームページ
- ⇒ 教材資料ダウンロード
- ⇒ 食育指導サポーター
- ⇒ 画像&データ資料集
- ⇒ 乳牛・牧場について
- ⇒ 牧場の仕事

注意 1. 2. 以外の補助教材は、様式をご活用ください



【給食の献立と連携が必要な食材】

いちご、ほうれん草、牛乳

ここがGood!

- 子どもたちにとって身近な給食の食材から価格を考えるという興味深い構成となっています。グラフの推移から食材の姿が見えてきます。
- グラフにより視覚化することができますが、グラフの縦軸、横軸をわかりやすく、丁寧にほぐす必要があります。三択で足場を用意する事が今日の献立とリンクしていれば、優れた教材になると思います。クイズの時もそうですが、何を選択肢にするかはとても大切です。変化のあるもの(旬・季節)との比較は大切です。価格や酪農家の仕事の大変さなどを、短時間指導で扱い始めると食育の可能性がますます大きくなります。
- 価格のグラフを見てみると季節によって大きく変動があります。今、食は身近であっても農はどんどん身近でなくなっているからこそ、農へしっかりとアクセスしなければなりません。社会科と連動させたり、生活につなげられていくと学習が深まります。

監修・評価 武庫川女子大学 専任講師 藤本勇二 先生